



3月のイベントといえば、お雛祭り。それともう一つ、3月8日の「国際女性デー」です。1904年同日に、アメリカで行われた「婦人参政権」デモがきっかけで、1906年やはり同日に制定されました。

その頃から世界中で本格的に女性参政権獲得の動きが始まり、日本で認められたのは戦後の1945年です。この権利の獲得のために戦った女性たちの信念をとて高貴く尊く感じます。

先人たちの偉業に敬意を表し、私たちも次世代により社会を次いでいきたいものです。
DUCTILE TIMES編集部

お知らせ

耐震形ダクタイル鉄管は 仮設管としても活躍しています

仮設管は多くの場合、レンタルでSUS管をご使用のことと思います。しかし、昨今、大きな災害が増え、復旧の目途がたちにくいことも。また地震災害の復旧においては、復旧作業中に再度地震がおこる場合もあり、仮設管にも耐震性が求められる時代になりました。

そんな高度な要求にもダクタイル鉄管は対応可能。耐震性に優れており、不断水で分岐の施工が可能。また、経済性にも優れており、比較的長期間仮設配管する場合や工事が輻輳する場合に、ダクタイル鉄管はその強みを発揮します。

Point1 管路の拡張

仮設管から分岐をとる際、レンタル管の場合断水を要するが、ダクタイル鉄管の場合、不断水で分岐の施工が可能。

Point2 耐震性

レンタル管は耐震適合性がないが、ダクタイル鉄管は耐震適合性がある。地震災害後においては、復旧時に二次災害が発生する可能性もあり、仮設管にも耐震性が求められる。

Point3 経済性

工期が不明瞭な場合や、長期にわたる場合は、レンタル管よりも購入管（ダクタイル鉄管）の方が安価となる場合がある。また、仮設管として利用した後は、再利用が可能。

仮設管でダクタイル管を使用した事例のご紹介

NECSで 宮城県 気仙沼市内

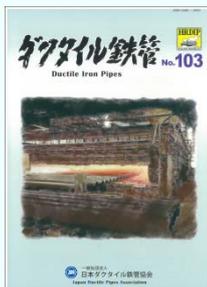
東日本大震災で水道施設が大きな被害を受けた気仙沼市。復旧までに3か月の長期間を要しました。特に大島地域は津波と

その後の火災により甚大な被害を被りました。

その大島地区の浜に面する部分に防波堤を新設するための整備事業を行われましたが、その際、管路の切り回しのために、仮設管の布設が必要になりました。NECS、K形、レンタル管に関して①費用負担の明確性②管路の拡張性③耐震性能④施工性⑤経済性の比較を行い、最終的にNECSを採用されました。

施工性については、工事業者へのヒアリングからレンタル管同等であると評価され、また、耐震性能が向上し災害時等に対する備えが図られるメリットが得られたとのこと。

(『ダクタイル鉄管No103』(発行：ダクタイル鉄管協会)より抜粋し編集 DUCTILE TIMES 編集部)



弊社は今年創業130周年を迎えます

2020年、弊社は創業130周年を迎えました。これまでわたしたちの成長をささえてくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。

これからも皆様のよりよい生活の向上を多くの製品や技術で支えて参ります。

130周年サイト：<https://www.kubota.co.jp/130th/>



↑ 尼崎工場内の鉄管回転式
鋳造装置 (1917年)

「KUBOTA PRESS」のご紹介

クボタプレスは、人と食料・水・環境をつなぐきっかけを生むメディアです。カテゴリー別に分類された記事のうち、「PEOPLE」において、

リーディングカンパニーとして果たすべき責務を支えるもの『地震に負けない水道管を！エンジニアに受け継がれる使命』が掲載されています。下記URLにアクセスしてみてください！

<https://www.kubota.co.jp/kubotapress/index.html>



↑ 津波の被害にも耐えた水道管

↓ GX形の吊り下げの様子

